

2018 SGH通信

【1年生配布用】

No.7 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

【ローカルテーマ第2弾】 岐阜県の課題解決！

番号	日付	内容
1	7月13日（金）	岐阜県について調べ学習
2	7月20日（金）	課題解決のワークショップ
3	9月7日（金）	岐阜県の課題調査抽出
4	9月14日（金）	岐阜県の課題調査抽出
5	9月21日（金）	グループ発表会

9月までの「SGH 探究 I」では、素材を「岐阜県」として、ローカルなテーマを扱っています。今まで皆さんは、その第1弾・学校行事・高山をフィールドとした探究として、フィールドを高山市に絞り、テーマを「観光」に限定して地域調査を行いました。岐阜県でも有数の観光地である高山市の現状を分析してグループで持続可能な観光客の入込み案として、観光に対する提言を行っていただきました。次なるミッションは、「岐阜県の課題発見と解決」です。

私たちが住んでいる岐阜県は、多くの魅力がある一方多くの課題が山積しています。ここでは、皆さんに多くのデータ（岐阜県の現状）から問題点をあぶり出してほしいと思います。そして、その問題点はなぜ起きているのかを分析して、理想としては解決策の提言につなげてほしいです。

高山に行く前に、岐阜県職員の方を講師としてお招きし、岐阜県のあらゆる分野の情報を示してもらったのを覚えていますか？私たちが生まれ育った「岐阜県」とはどんな都道府県なのか。どのような特徴があって、その中にはどんな魅力があり、またどんな課題があるのか、多くのデータを示してもらったと思います。ここから9月の終わりまでは、県内課題の解決策にチャレンジしてもらいます。ここから皆さんがチャレンジすることをまとめると以下のようなものです。

【 テーマ 】 岐阜県の課題解決

【 領域 】 「健康・医療」「教育」「経済」「環境」の4分野のうち1つについて解決策をグループでだしてもらいます。どの分野になるかは、13日の探究の時間に発表します。

【 グループ 】 高山研修のグループ

【 最終課題 】 グループでのプレゼン発表

グループで岐阜県の現状・原因・解決策を発表します。

平成26年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

① 岐阜県の課題調査抽出

1の講座で見聞きしたデータや知識をヒントに、膨大な量のデータから、岐阜県の課題につながると思ったキーワードをピックアップします。講座で聞いた話を振り返りながら、思いついた用語を列挙してみてください。キーワードとは、その情報を理解するために必要な語句です。

ピックアップしたキーワードは、仲間に説明できるよう、その語句をしっかりと調べてまとめてみてください。言葉には、意味や定義がはっきりしているものと、そうでないものがあります。まずは、単純にその言葉の意味を理解するために、意味や定義を整理してください。

② ワークショップ（キーワードのマッピング）

岐阜県とつなげて、キーワードの理解に努めてみてください。まとめたキーワードは、関連あるキーワードごとに集めグループ化していきます。その1つ1つの関係が分かるように図解化（マッピング）します。マッピングをすることで岐阜県の課題は何かを見つけてみましょう。この日にむけて、できるだけ多くのキーワードをグループで集めておきましょう。

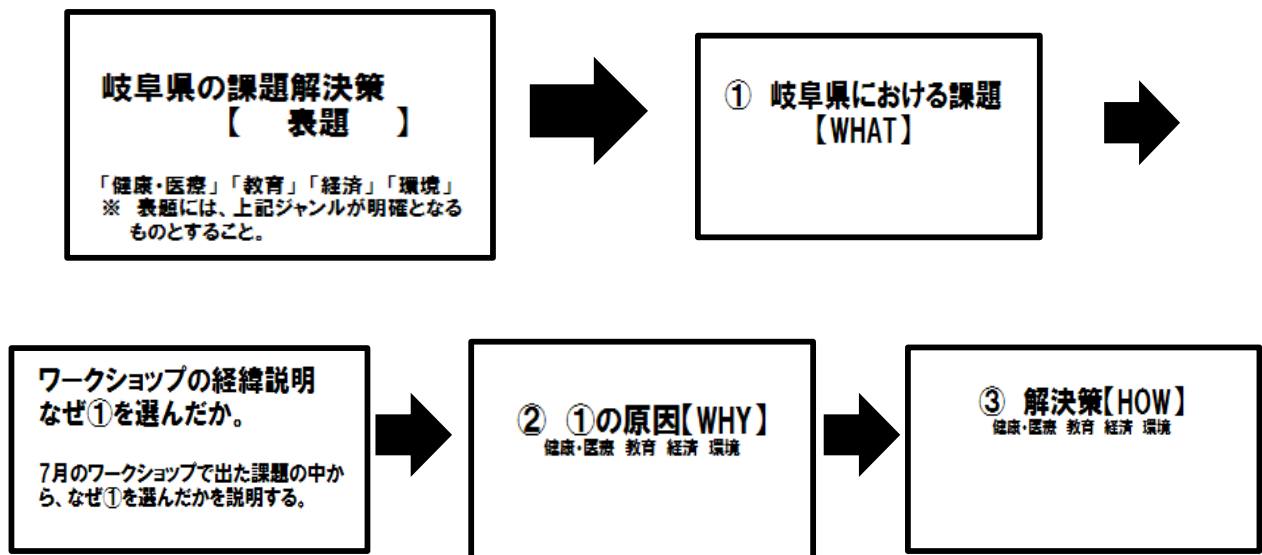


③ ④ ⑤原因究明、解決策のまとめ、プレゼン作成、発表会

マッピングしたものをもとに、岐阜県の課題を整理します。課題を1つ見つけたら、その原因をグループで探してみてください。課題解決策は、原因が分かって初めて見出すものです。その際に、岐阜県の魅力を使うことができれば最高です。

発表は、パワーポイントを使います。現状・原因・解決策の順でクラスの他のグループに解決案を提案してください。発表時間は1グループ5分とします。

以下に、発表会のプレゼンフォーマットを示します。参考にしてください



今回は、仮説の検証はありません。一番の目的は、なぜ？の重要性を理解してもらう事です。